

# 献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

【日本赤十字社への申請】

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
1		理学部臨床検査技師養成コース病院実習	石田 智子	東邦大学医療センター佐倉病院 輸血部	副技師長	①	①	赤血球4バッグ、血漿3バッグ、血漿257.0mL
2		教育目的の検査実習	五十嵐 昌徳	福島県立総合衛生学院	学院長	①	①②	赤血球3バッグ、血漿2バッグ、血漿233.0mL、検査残余全血40本
3		臨床検査技師養成教育における輸血検査実習	三島 由祐子	杏林大学 保健学部	学内講師	①	①	赤血球8バッグ、血漿8バッグ
4		検査用の精度管理用コントロールの製造	新井 秀夫	オリエンタル酵母工業(株)	常務取締役 バイオ事業本部長	②	②	検査残余血清1900000.0mL
5		結核・ハンセン病等抗酸菌感染症に対する新規ワクチンの開発	前田 百美	国立感染症研究所	室長	②	①	全血5874.0mL
6		ヒト血漿セレノプロテインPの精製およびその機能解析	斎藤 芳郎	東北大学大学院 薬学研究科	教授	②	①②	血漿26バッグ、血漿5481.0mL、セグメント全血5本
7		茨城県臨床検査技師会による所属施設への輸血検査業務支援	岡野 正道	(公社)茨城県臨床検査技師会	生命倫理検査部門 輸血・移植検査分野 分野長	①	①	赤血球3バッグ、血漿1バッグ、血漿496.0mL
8		富山県臨床検査精度管理協議会	北島 勲	富山県臨床検査精度管理協議会	医師	①	①	赤血球3バッグ、血漿464.0mL
9		愛知県臨床検査精度管理調査(輸血検査部門)	中根 生弥	公益社団法人 愛知県臨床検査技師会	会長	①	①	赤血球2バッグ、血漿2バッグ、血漿224.0mL
10		愛知県臨床検査技師会 輸血検査研究班 基礎講座	中根 生弥	公益社団法人 愛知県臨床検査技師会	会長	①	②	検査残余全血13本
11		輸血検査の実習	畠山 真奈美	北海道医学技術専門学校	教員	①	①	赤血球12バッグ、血漿248.0mL
12		認定輸血検査技師協議会認定試験・精度管理調査	加藤 栄史	認定輸血検査技師協議会	試験委員長	①	①	赤血球12バッグ、血漿2バッグ
13		医学部学生の血液型判定の実習	横須賀 忠	東京医科大学 免疫学分野	主任教授	①	①	赤血球4バッグ、血漿4バッグ
14		国家検定、収去試験、および規格試験の実施	松岡 佐保子	国立感染症研究所	厚生労働技官	①②	②	検査残余全血4本
15		臨床免疫学実習における輸血検査の指導	白土 佳子	埼玉県立大学	准教授	①	①	赤血球5バッグ、血漿3バッグ、血漿116.0mL
16		抗血小板抗体検出試薬製造に必要な有効期限切血小板製剤について	吉村 成明	ベックマン・コールター・三島株式会社 テクニカルオペレーショングループ	Senior Engineer Systems	②	①	血小板222バッグ
17		マラリア原虫のガメサイト形成機構の解明	筏井 宏実	北里大学 獣医学部	准教授	②	①	赤血球12バッグ
18		輸血検査部門の精度管理	菱川 晶絵	一般社団法人 徳島県臨床検査技師会	精度管理委員会 輸血検査部門責任者	①	①	赤血球4バッグ、血漿475.0mL
19		埼玉県医師会臨床検査精度管理事業	金井 忠男	埼玉県医師会	会長	①	①	赤血球4バッグ、血漿4バッグ、血漿536.0mL
20		抗マラリア原虫薬の開発	渡邊 信元	国立研究開発法人 理化学研究所 環境資源科学研究センター	特別嘱託研究員	②	①	赤血球26バッグ
21		卒前卒後医学教育(輸血検査実習)	田野崎 隆二	慶應義塾大学病院 輸血・細胞療法センター	教授	①	①	赤血球4バッグ
22		マラリア原虫の増殖機構及び宿主-マラリア原虫相互作用の解明	堀井 俊宏	大阪大学 微生物病研究所	寄附研究部門教授	②	①	赤血球43バッグ、血漿14バッグ、血漿2251.0mL
23		学部学生の免疫検査学実習	小松 博義	文京学院大学 保健医療技術学部	教授	①	①	赤血球12バッグ、血漿12バッグ
24		マラリア原虫感染後の赤血球内部に構築される膜に対する機能解析	早川 枝李	自治医科大学 医学部 医動物学部門	助教	②	①	赤血球18バッグ、血漿6バッグ、血漿678.0mL
25		ヒト赤血球膜蛋白質バンド3の構造-機能相関研究	隈 博幸	長崎国際大学 薬学部	教授	②	①	赤血球30バッグ
26		栃木県臨床検査精度管理調査	長島 徹	一般社団法人 栃木県医師会	副会長	①	①	赤血球2バッグ、血漿456.0mL
27		輸血・移植検査学実習	登尾 一平	学校法人 銀杏学園 熊本保健科学大学 医学検査学科	講師	①	①	赤血球5バッグ、血漿3バッグ、血漿476.0mL、血小板4バッグ

# 献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
28		アミノ酸制御による新規のマラリア治療・予防法の開発研究	嘉糠 洋陸	東京慈恵会医科大学 熱帯医学講座	教授	②	①②	全血8515.0mL、赤血球12バッグ、血漿10バッグ、検査残余血清2400本
29		学生実習(輸血検査学実習)	赤池 雅史	徳島大学 医学部	学部長	①	①②	赤血球2バッグ、血漿709.0mL、セグメント全血160本、検査残余全血46本
30		ABO式、Rh式血液型判定の検査実習	南 順子	東京工科大学	講師	①	/	なし
31		日本輸血・細胞治療学会認定医制度認定試験	面川 進	日本輸血・細胞治療学会	認定医制度審議会長	①	②	検査残余全血161本
32		ABO式血液型の判定	隅 輝満	山口県警察本部 科学捜査研究所	所長	②	②	検査残余全血144本
33		学生実習(血液型、不規則抗体検査、交差適合試験)	小野寺 利恵	山陽女子短期大学 臨床検査科	准教授	①	①②	赤血球2バッグ、血漿1バッグ、血漿248.0mL、検査残余全血13本
34		学生の輸血検査学実習	山田 久	学校法人明経学園 美萩野臨床医学専門学校	教員	①	①	赤血球1バッグ、血漿254.0mL
35		献血血液を用いた医学部での教育研修	高橋 直人	秋田大学医学部附属病院 輸血部	教授 輸血部長	①	①	血漿592.0mL
36		福島県臨床検査技師会 学術部輸血・移植検査部門における教育	奥津 美穂	一般社団法人 福島県臨床検査技師会	輸血・移植検査部門長	①	/	なし
37		総コレステロール測定用試薬及びトリグリセライド測定用試薬の性能試験等の際に自家使用する高濃度リポ蛋白画分試料の調製	久保 純	株式会社 セロテック	研究所 所長	②	②	検査残余血清150000.0mL
38		マラリア原虫のゲノム情報に立脚した新規の診断、治療、予防法の開発研究	西川 義文	帯広畜産大学 原虫病研究センター	教授	②	①	赤血球7バッグ
39		石川県臨床衛生検査技師会輸血検査研究班実技研修会	長原 三輝雄	石川県臨床衛生検査技師会	会長	①	/	なし
40		学生実習(輸血検査)	笠原 聡	新潟医療技術専門学校	准教授	①	①	赤血球6バッグ、血漿4バッグ、血漿262.0mL
41		大分県医師会精度管理調査(輸血検査)	近藤 稔	一般社団法人 大分県医師会	会長	①	①	赤血球4バッグ、血漿3バッグ、血漿964.0mL
42		岡山県精度管理調査(輸血部門)	木村 泰治	一般社団法人 岡山県臨床検査技師会	会長	①	①	赤血球5バッグ、血漿1415.0mL
43		臨床検査精度管理調査	藤原 祝子	一般社団法人 長野県臨床検査技師会	精度管理事業部長	①	①	赤血球2バッグ、血漿1バッグ、血漿225.0mL
44		山口県精度管理調査及び実技講習会	洪田 秀美	一般社団法人 山口県臨床検査技師会	臨床検査技師	①	①	赤血球6バッグ、血漿961.0mL
45		輸血・移植検査学実習(神戸常盤大学保健科学部医療検査学科の学生実習)	坂本 秀生	神戸常盤大学 保健科学部 医療検査学科	学科長	①	①②	赤血球11バッグ、血漿3バッグ、血漿487.0mL、検査残余全血39本
46		輸血検査学実習	小澤 優	京都保健衛生専門学校 臨床検査学科	教務部長	①	①	赤血球6バッグ、血漿1バッグ、血漿897.0mL
47		法医学実務、薬毒物分析センター実務、及び薬毒物分析法確立のため使用する。	岩井 雅枝	愛知医科大学 医学部 法医学	助教	②	②	検査残余全血80本
48		臨床検査技師 実技実習(輸血検査)	森田 益子	一般社団法人 広島県臨床検査技師会	会長	①	/	なし
49		岩臨技輸血・移植部門研修会	高館 潤子	岩手県臨床衛生検査技師会	輸血・移植部門担当	①	/	なし
50		岩臨技精度管理事業 輸血・移植部門	高館 潤子	岩手県臨床衛生検査技師会	輸血・移植部門担当	①	①	赤血球2バッグ、血漿1バッグ、血漿240.0mL
51		医学教育用	江頭 弘一	久留米大学病院 臨床検査部	臨床検査技師	①	①	赤血球7バッグ、血漿1バッグ、血漿731.0mL
52		一般社団法人福岡県臨床衛生検査技師会輸血検査研修用	天本 貴広	一般社団法人 福岡県臨床衛生検査技師会	輸血細胞治療部門長	①	/	なし
53		新潟県臨床検査技師会 輸血細胞治療部門 実技講習会	近藤 善仁	新潟県臨床検査技師会	輸血細胞治療部門長	①	/	なし
54		免疫検査学実習	望月 泰男	昭和医療技術専門学校 臨床検査技師科 教務課	副校長	①	①	赤血球12バッグ、血漿9バッグ

# 献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
55		急性リンパ性白血病(ALL)における定量PCRを用いた微小残存病変(MRD)測定法の確立と臨床的意義の検討	堀部 敬三	名古屋医療センター 臨床研究センター	上席研究員	②	②	検査残余全血480本
56		九州・沖縄地区臨床検査精度管理事業	堀田 多恵子	九州臨床検査精度管理研究会	生化学部門 解析委員(統括)	①	①	赤血球11バッグ、血漿14バッグ、血漿8406.0mL
57		血液センターから供給を受けた血液を使用した輸血検査実習	長谷川 浩子	千葉大学医学部附属病院 輸血・細胞療法部	臨床検査技師	①	①	血漿2バッグ
58		新生児・妊婦におけるマスキリーニングの改善と精度向上	山口 亮	札幌市衛生研究所	所長	②	①	赤血球1バッグ
59		公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会 輸血研究班活動	加藤 正輝	公益社団法人 兵庫県臨床検査技師会	輸血研究班長	①	①	赤血球2バッグ、血漿545.0mL
60		静岡県医師会臨床検査精度管理	松島 江理	静岡県医師会 臨床検査精度管理委員会	臨床検査技師	①	①	赤血球3バッグ、血漿721.0mL
61		山形県臨床検査精度管理	佐藤 大亮	一般社団法人 山形県臨床検査技師会	臨床検査技師	①	①	赤血球2バッグ、血漿442.0mL
62		質の高い輸血学教育研修の実践	梶原 道子	東京医科歯科大学医学部附属病院 輸血・細胞治療センター	副センター長	①	①	血漿1バッグ、血漿530.0mL
63		本学 輸血検査実習	田原 佐知子	昭和大学病院 輸血センター	臨床検査技師	①	①	赤血球78バッグ
64		学生実習(臨床免疫学における輸血検査実習)	国分寺 晃	広島国際大学	教授	①	①	赤血球6バッグ、血漿2バッグ、血漿979.0mL
65		輸血テクニカルセミナー実技講習会	松下 正	日本輸血・細胞治療学会	理事長	①		なし
66		二級臨床検査士免疫血清学、緊急臨床検査士資格認定試験および免疫血清学技術講習会	宮地 勇人	公益社団法人 日本臨床検査同学院	理事長	①	①	赤血球5バッグ、血漿6バッグ
67		佐賀県臨床検査技師会輸血実技研修会	山田 麻里江	(一社)佐賀県臨床検査技師会	輸血部門 生涯教育研修委員	①		なし
68		多項目実用参照物質の作製と評価	篠原 克幸	公益社団法人 日本臨床検査標準協議会	多項目実用参照物質委員会副委員長	①	②	検査残余血清30000.0mL
69		輸血検査の学生実習	長井 一浩	長崎大学病院 細胞療法部	副部長	①	②	セグメント全血40本
70		熱帯熱マラリア原虫人工染色体による遺伝子ライブラリー作製とそれを用いた薬剤耐性遺伝子の同定	岩永 史朗	大阪大学微生物病研究所	教授	②	①	赤血球61バッグ、血漿49バッグ、血漿5644.0mL
71		感染症流行予測調査	今川 正紀	厚生労働省 健康局 結核感染症課	感染症情報管理室長	②	②	検査残余血清1322本
72		臨床検査技師養成教育における輸血検査実習	稲福 全人	学校法人 湘央学園 湘央医学技術専門学校	校長	①	①	赤血球10バッグ、血漿4バッグ
73		ヒト血液を用いた血液適合性材料のスクリーニング実験	古川 克子	東京大学大学院 工学系研究科 バイオエンジニアリング専攻 古川研究室	准教授	①②		なし
74		精度改善事業	片川 一之	一般社団法人 神奈川県臨床検査技師会	会長	①	①	赤血球5バッグ、血漿4バッグ
75		輸血・血液型検査実習	片川 一之	一般社団法人 神奈川県臨床検査技師会	会長	①	①	赤血球5バッグ
76		マラリア原虫の分子細胞生物学的解析および時空間的動態解析	金子 修	長崎大学 熱帯医学研究所	教授	②	①	赤血球48バッグ、血漿3バッグ、血漿1616.0mL
77		学生教育における血液型実習	塚 正彦	金沢大学大学院 医薬保健学総合研究科	教授	①		なし
78		輸血検査実技研修会	亀山 拓哉	(一社)静岡県臨床衛生検査技師会	臨床検査技師	①		なし
79		輸血教育学	杉山 芳樹	東京医学技術専門学校	学校長	①	①	赤血球9バッグ
80		(一社)島根県臨床検査技師会 精度管理調査輸血検査部門	錦織 昌明	(一社)島根県臨床検査技師会	会長	①	①	赤血球3バッグ、血漿924.0mL
81		佐賀県医師会臨床検査精度管理調査	枝國 源一郎	公益財団法人 佐賀県健康づくり財団	専務理事(臨床検査担当理事)	①	①	赤血球5バッグ、血漿1バッグ、血漿479.0mL

# 献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
82		ヘルパーT細胞を基軸とした免疫制御機構の解明と次世代がんワクチンの開発に関する研究	北村 秀光	北海道大学 遺伝子病制御研究所 免疫機能学分野	准教授	②		なし
83		滋賀県臨床検査技師会精度管理事業(輸血部会)	西村 好博	(公社)滋賀県臨床検査技師会	滋賀県臨床検査技師会 精度管理委員輸血部会代表	①	①	赤血球4バッグ、血漿959.0mL
84		広島県臨床検査精度管理調査	松村 誠	広島県医師会	会長	①	①	赤血球3バッグ、血漿1バッグ、血漿995.0mL
85		精度管理調査用試料として	浅野 敦	一般社団法人 岐阜県臨床検査技師会	会長	①	①	赤血球2バッグ、血漿474.0mL
86		滋賀県臨床検査技師会 輸血細胞治療部門 実技研修会	山中 博之	(公社)滋賀県臨床検査技師会 輸血細胞治療部門	臨床検査技師	①	①	赤血球5バッグ
87		輸血検査実技講習	綿引 一成	一般社団法人 千葉県臨床検査技師会	会長	①		なし
88		輸血・移植免疫学実習	五十嵐 康之	北里大学保健衛生専門学院	専任教員	①	①	赤血球5バッグ、血漿7バッグ、血漿258.0mL
89		千葉県臨床検査技師会輸血部門精度管理	綿引 一成	一般社団法人 千葉県臨床検査技師会	会長	①	①	血漿1バッグ、血漿242.0mL
90		マラリアワクチンの研究	高島 英造	愛媛大学 プロテオサイエンスセンター	准教授	②	①	赤血球24バッグ、血漿12バッグ、血漿2753.0mL
91		マラリア原虫の赤血球寄生分子機構の研究	橋 真由美	愛媛大学 プロテオサイエンスセンター	助教	②	①	赤血球13バッグ、血漿21バッグ、血漿5032.0mL
92		学生実習(輸血検査)	赤坂 和美	旭川医科大学病院 臨床検査・輸血部	副部長	①	①②	赤血球3バッグ、血漿2バッグ、血漿237.0mL、セグメント全血160本
93		輸血用血液の安全性確保のための研究	岡崎 仁	東京大学医学部附属病院 輸血部	教授	①		なし
94		福島県臨床検査技師会 精度管理事業	田村 功	福島県臨床検査技師会	精度管理事業部 精度管理委員長	①	①	赤血球2バッグ、血漿1バッグ、血漿240.0mL
95		人工赤血球(赤血球代替物)の開発	小松 晃之	中央大学 理工学部	教授	①②	①	赤血球8バッグ
96		医療費適正化効果のある特定健診・特定保健指導の臨床検査に関する効果的エビデンスの提供を保証する精度管理調査試料の作製と活用	宮島 喜文	一般社団法人 日本臨床衛生検査技師会	代表理事会長	①	②	検査残余血清70000.0mL
97		マラリア原虫の <i>in vitro</i> 培養系を用いた薬剤耐性研究	杉下 智彦	東京女子医科大学	教授	②	①	血漿8バッグ
98		医療機器の評価	千葉 弘範	株式会社 常光 医療機器開発部	部長	②	②	検査残余全血50本、検査残余血清50本
99		学生における輸血検査教育・実技講習	池田 和彦	福島県立医科大学	教授	①	①	赤血球54バッグ
100		初期研修医 輸血検査実習	大崎 浩一	聖マリア病院 輸血科	診療部長	①	①	赤血球3バッグ、血漿1バッグ、血漿501.0mL
101		培養熱帯熱マラリア原虫を用いた薬剤標的分子の探索研究	金 惠淑	岡山大学	准教授	②	①	赤血球19バッグ、血漿1バッグ、血漿239.0mL
102		マラリア原虫のオルガネラの解析	野崎 智義	国立大学法人 東京大学大学院 医学系研究科 生物医化学教室	教授	②	①	赤血球23バッグ
103		新生児マスキリーニングの精度管理	但馬 剛	国立研究開発法人 国立成育医療研究センター 研究所 マスキリーニング研究室	室長	②	①	全血762.0mL
104		輸血実技講習会	清川 知子	公益社団法人 大阪府臨床検査技師会 学術部輸血検査部門	世話人責任者	①		なし
105		好中球活性化制御に注目した敗血症病態解析と治療法開発	西堀 正洋	岡山大学大学院 学術研究 院医歯薬学域	教授(特任)	②		なし
106		東京都臨床検査技師会 輸血レベルの向上を目指した教育的使用①実技講習会 ②標準化事業 精度管理調査および発表講習会	原田 典明	公益社団法人 東京都臨床検査技師会	会長	①	①	赤血球6バッグ、血漿6バッグ
107		輸血検査実習	竹下 明裕	浜松医科大学医学部附属病院	病院教授	①	①	赤血球26バッグ、血漿10バッグ、血漿3523.0mL
108		学生実習(輸血検査学、臨床検査体験演習など)	一原 直人	純真学園大学 保健医療学部 検査科学科	准教授	①	①	赤血球9バッグ、血漿3バッグ、血漿250.0mL

# 献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
109		第2学年対象 輸血・移植検査学実習	横尾 智子	新渡戸文化短期大学 臨床検査学科	教授	①	①	赤血球24バッグ、血漿17バッグ
110		宮城県臨床検査技師会 輸血検査部門 実技研修会	岩木 啓太	宮城県臨床検査技師会	輸血検査部門長	①	/	なし
111		宮城県臨床検査技師会 精度管理調査	岩木 啓太	宮城県臨床検査技師会	輸血検査部門長	①	①	赤血球2バッグ、血漿4バッグ、血漿243.0mL
112		熱帯熱マラリア原虫の赤血球侵入機構および細胞内物質輸送機構の解析	伊藤 大輔	鳥取大学 医学部	助教	②	①	赤血球24バッグ、血漿2バッグ、血漿466.0mL
113		感染症検体パネルの整備	加藤 孝宣	国立感染症研究所	ウイルス第二部長	②	①	血漿9200.0mL
114		石川県医師会臨床検査精度管理調査	安田 健二	石川県医師会	医師	①	①	赤血球4バッグ、血漿2バッグ、血漿476.0mL
115		臨床化学検査の外部精度管理調査における最適な調査試料の作製と評価	坂本 徳隆	一般社団法人 福岡県臨床衛生検査技師会	精度管理事業部長	①	②	検査残余血清30000.0mL
116		学生実習(輸血検査)	重松 康之	大阪医療技術学園専門学校 臨床検査技師科	学科長	①	①②	赤血球4バッグ、血漿579.0mL、検査残余全血8本
117		備蓄・緊急投与が可能な人工赤血球製剤の実用化を目指す研究	酒井 宏水	奈良県立医科大学	教授	①	①	赤血球39バッグ
118		免疫ヒト化マウスの作成と応用(献血利用)	竹原 徹郎	大阪大学大学院 医学系研究科	教授	②	/	なし
119		佐賀大学医学部附属病院検査部内の実技講習会	山田 麻里江	佐賀大学医学部附属病院 検査部	係長	①	①	赤血球3バッグ、血漿482.0mL
120		輸血研修会試料として使用	手登根 稔	一般社団法人 沖縄県臨床検査技師会	会長(臨床検査技師)	①	①	血漿261.0mL
121		譲渡血液を用いた輸血移植検査学の実習	山田 武司	愛媛県立医療技術大学 保健科学部 臨床検査学科	教授	①	①	赤血球5バッグ、血漿2バッグ、血漿441.0mL
122		輸血検査に係る実技講習会	小野 誠司	札幌臨床検査技師会	会長	①	/	なし
123		臨床検査精度管理調査	茂松 茂人	一般社団法人 大阪府医師会	会長	①	①	赤血球9バッグ、血漿7バッグ、血漿1106.0mL
124		学生実習用	安倍 正博	徳島大学病院 輸血・細胞治療部	部長(准教授)	①	②	検査残余全血36本
125		埼玉県臨床検査技師会 輸血検査実技研修会	神山 清志	公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会	会長	①	/	なし
126		免疫検査学実習における輸血関連検査	太田 悦朗	北里大学 医療衛生学部	准教授	①	①	赤血球5バッグ、血漿4バッグ
127		臨床検査技師育成課程における輸血検査実習	川村 宏樹	新潟医療福祉大学 医療技術学部 臨床技術学科	准教授	①	①	赤血球9バッグ、血漿1バッグ、血漿1253.0mL
128		卒後臨床研修医輸血検査実習	平野 公通	兵庫医科大学病院 医療人育成研修センター 卒後研修室	室長	①	①	赤血球5バッグ、血漿1317.0mL
129		検査試薬に対する非特異反応等回避への使用	菅 亮彦	株式会社カインス	研究所 所長	②	②	検査残余血清2700本
130		脳梗塞再生治療に用いる骨髄幹細胞培養に使用する血小板溶解物の作成	川堀 真人	北海道大学 大学院医学研究院 脳神経外科学教室	助教	②	①	血小板21バッグ
131		臨床検査実習	稲垣 昌博	昭和大学 富士吉田教育部	教授	①	/	なし
132		感染症検査試薬の新規開発および改良検討	金子 敦	富士レビオ株式会社	試薬開発部長	①②	②	検査残余血清10000本
133		歯科臨床検査法における血液成分検査・血液型検査	中川 耕次	三重県立公衆衛生学院	学院長	①	②	検査残余全血4本
134		ヒト末梢血細胞を用いた抗酸菌症の基礎研究	西村 知泰	慶應義塾大学 保健管理センター	専任講師	②	①	全血1828.0mL
135		輸血・移植検査学実習	畑中 徳子	天理医療大学 医療学部 臨床検査学科	准教授	①	①	赤血球3バッグ、血漿3バッグ、血漿251.0mL

# 献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
136		宮城県臨床検査技師会 精度管理事業	播磨 晋太郎	宮城県臨床検査技師会	精度管理部門員	①	①	赤血球2バッグ、血漿1バッグ
137		マラリア原虫のライフサイクル分子基盤解明	美田 敏宏	順天堂大学	教授	②	①	赤血球12バッグ、血漿10バッグ
138		生命科学部・2年 基礎生命科学実習Ⅲ・学生実習(血液細胞解析法)	平位 秀世	東京薬科大学	教授	①	①	赤血球4バッグ、血漿4バッグ
139		NATコントロールサーベイ事業(血液対策課委託事業)	浜口 功	国立感染症研究所	厚生労働技官	①②	①	血漿8バッグ
140		熱帯熱マラリア原虫の細胞内物質輸送機構の解析	入子 英幸	神戸大学大学院 保健学研究科	准教授	②	①	赤血球8バッグ、血漿5バッグ
141		新鮮血液のABO式血液型判定実習	上野 易弘	神戸大学大学院 医学研究科 地域社会医学健康科学講座 法医学分野	教授	①	②	検査残余全血12本
142		再生医療用途を目的とした人工酸素運搬体の開発	伊藤 大知	東京大学大学院医学系研究科	教授	②	①	赤血球1バッグ
143		学生実習及び認定輸血検査技師試験研修	赤司 浩一	九州大学病院 検査部	検査部長	①	①	赤血球1バッグ、血漿598.0mL
144		血中微生物回収方法の検討に用いる試料としての献血血液の使用	須釜 裕司	ニッポーメディカル株式会社	メディカル研究開発センター長	②	①	全血652.0mL
145		獨協医科大学病院 令和3年度臨床研修医卒後教育輸血検査実習	三谷 絹子	獨協医科大学病院 輸血部	部長	①	①	赤血球20バッグ、血漿6バッグ
146		輸血検査実技講習会	大矢知 崇浩	三重県臨床検査技師会	臨床検査技師	①		なし
147		学生に対する教育目的	中村 文隆	帝京大学ちば総合医療センター 検査部	部長	①		なし
148		iPS細胞技術に基づく同種臨床試験用巨核球細胞の樹立と血小板製剤の開発に関する研究	熊谷 善弘	株式会社メガカリオン	最高技術責任者	①②	①	血小板15バッグ
149		学生学内実習	熊取 厚志	鈴鹿医療科学大学 保健衛生学部	教授	①	①	赤血球4バッグ、血漿1バッグ
150		日本総合健診医学会精度管理調査	五関 善成	一般社団法人 日本総合健診医学会	精度管理委員会 委員長	①②	②	検査残余血清21000.0mL
151		体外診断用医薬品の品質管理	柿沼 幸利	バイオ・ラッド ラボラトリーズ株式会社	診断薬カスタマーサポート部 部長	①②	②	検査残余全血480本
152		輸血検査精度管理調査	山本 茂一	株式会社カインス	学術部長	①②	①	赤血球2バッグ、血漿4バッグ、血漿1160.0mL
153		検査技師実習	廣田 雅子	東京工科大学 医療保険学部 臨床検査学科	准教授	①	①	血漿516.0mL
154		既承認体外診断用医薬品における品質管理試験	殿岡 健太郎	株式会社シマ研究所 薬事部	部長	②	②	検査残余血清400本
155		ヒト血液型糖鎖抗原の機能解析	竹松 弘	藤田医科大学	教授	②		なし
156		熱帯熱マラリア原虫のin vitro培養系による病原機構の解明	中野 由美子	国立感染症研究所 寄生動物部	主任研究官	②	①	赤血球22バッグ、血漿3バッグ
157		新人臨床検査技師の技能研修	乗船 政幸	独立行政法人 国立病院機構 中国四国グループ	臨床検査専門職	①		なし
158		医学部における輸血検査実習	宮地 勇人	東海大学 医学部附属病院	教授	①	①	赤血球4バッグ、血漿4バッグ
159		奈良臨技輸血研究班主催 令和3年度輸血検査実技研修会にて使用する検体準備のため	勝山 政彦	一般社団法人 奈良県臨床検査技師会	会長	①		なし
160		山梨県医師会精度管理事業	多田 正人	一般社団法人 山梨県臨床検査技師会	会長	①	①	赤血球2バッグ、血漿263.0mL
161		Wakoコントロールサーベイ(輸血検査)	高橋 かおり	富士フイルム和光純薬株式会社 臨床検査事業部 臨床検査学術開発本部 カスタマーサポート部 カスタマーサ	課長	②	①	赤血球2バッグ、血漿2バッグ、血漿535.0mL
162		培養マラリア原虫を用いた簡便なマラリア原虫検出システム構築研究	橋本 宗明	国立研究開発法人 産業技術総合研究所	主任研究員	②	①	赤血球 12 バッグ、血漿 12 バッグ、血漿 2814.0mL

# 献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
163		ウイルス感染症に対するT細胞応答の解析	立川 愛	国立感染症研究所	室長	②		なし
164		ヒト臍帯血液幹細胞の増幅と血球系細胞への分化能に関する研究	内田 恵理子	国立医薬品食品衛生研究所 遺伝子医薬部	主任研究官	②	①	全血2822.0mL
165		B型肝炎ウイルス感染の病態別における宿主遺伝子の探索研究	徳永 勝士	国立国際医療研究センター研究 所 ゲノム医科学プロジェクト	戸山プロジェクト長	②	②	検査残余血清20本
166		パルスオキシメータ評価用血液循環シミュレータの開発	根木 潤	日本光電工業(株) 荻野記念 研究所	所長	②	①	全血13911.0mL
167		輸血・移植検査学実習に使用	柴山 修司	つくば国際大学医療保健学部 臨床検査学	教授	①	①	赤血球16バッグ、血漿13バッグ
168		POCT向け血糖およびHbA1c検査の精度管理用コントロール血液の開発	菱沼 義寛	病態解析研究所	研究員	②	①	全血729.0mL
169		力学的刺激による血液凝固因子活性の定量解析	小阪 亮	国立研究開発法人産業技術 総合研究所 健康医工学研究 部門	上級主任研究員	②		なし
170		血漿中プラスミノゲンの内皮細胞における機能解析	鈴木 優子	浜松医科大学	教授	②		なし
171		赤血球期マラリアを用いた新規抗マラリア薬スクリーニング	水上 修作	長崎大学 熱帯医学研究所 免疫病態制御学分野	准教授	②	①	赤血球34バッグ、血漿3バッグ、血漿491.0mL
172		京都府臨床検査技師会 実技講習会	日下部 昌平	一般社団法人京都府臨床検査 技師会 輸血研究班	班長	①	①	赤血球2バッグ、血漿1バッグ、血漿202.0mL
173		抗HTLV-1ヒト免疫グロブリンによるHTLV-1の革新的感染予防モデルの開発とその有効性の検討	水上 拓郎	国立感染症研究所 次世代 生物学的製剤研究センター	第一室長	②	①	全血1021.0mL、血漿2701.0mL
174		iPS細胞技術を基盤とする血小板製剤の開発と臨床試験	江藤 浩之	京都大学 iPS細胞研究所	教授	①②	①	血漿1636.0mL
175		輸血検査精度管理	片出 珠々	三重県臨床検査技師会	輸血検査精度管理班	①	①	赤血球3バッグ、血漿5090.0mL
176		輸血検査実技講習会	佐藤 元恭	(公社)大分県臨床検査技師 会	会長	①		なし
177		密度勾配連続細胞分離法による好塩基球の分離、濃縮	塩野 裕之	愛知医科大学 生理学	シニア講師	②	②	白血球除去フィルター全血5個
178		初級者対象輸血検査実技研修会	南部 重一	一般社団法人 富山県臨床 検査技師会	臨床検査技師	①		なし
179		感染症安全対策体制整備事業輸血の安全性確保を目指した感染症安全対策体制構築のための研究	浜口 功	国立感染症研究所 次世代 生物学的製剤研究センター	センター長	①②	①	血漿1190.0mL
180		精度管理調査における献血血液の利用	渡邊 博昭	(一社)新潟県臨床検査技師 会	会長	②	①	全血779.0mL
181		香川県立保健医療大学臨床検査学科学生の輸血検査学実習教育における使用	井伊 久美子	香川県立保健医療大学	学長	①		なし
182		ヘパトカインを標的とした診断薬・治療薬の開発	篁 俊成	金沢大学大学院 医学系研究 科	教授	②	①	血漿10バッグ、血漿9181.0mL
183		輸血検査の理解と技術向上	細川 早織	高松赤十字病院 検査部	輸血検査係長	①	①	赤血球2バッグ、血漿247.0mL
184		臨床免疫学実習	伊藤 洋志	長浜バイオ大学	准教授	①	①②	赤血球4バッグ、血漿255.0mL、検査残余全血4本
185		臨床検査学科における免疫検査学(含む輸血検査学)、臨床化学等の検査学実習	脇 英彦	森ノ宮医療大学 保健医療学 部 臨床検査学科	学科長/教授	①	①②	赤血球10バッグ、血漿1176.0mL、検査残余全血42本、検査残余血清200本
186		宮城県臨床検査技師会 精度管理事業	播磨 晋太郎	宮城県臨床検査技師会	精度管理部門長	①	①	血漿1バッグ
187		学生に対する教育目的	藤原 実名美	東北大学病院 輸血・細胞治 療部	副部長	①		なし
188		臨床検査技師養成大学における臨床免疫学実習I	坊池 義浩	神戸学院大学 栄養学部	准教授	①	①②	赤血球1バッグ、血漿472.0mL、セグメント全血70本、検査残余全血50本
189		ヒト末梢血単球を用いた免疫応答反応のメカニズム解明	中川 晋作	大阪大学大学院 薬学研究 科	教授	②	①	全血13755.0mL

# 献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
190		痛風・高尿酸血症リスクに関連するABCG2遺伝子の解析:Jra抗原陰性者の解析による新規リスク変異の検討	松尾 洋孝	防衛医科大学校 分子生体制御学講座	教授	②		なし
191		ヒト血液を使用した血液ポンプの溶血試験	小阪 亮	国立研究開発法人 産業技術総合研究所 健康医工学研究部門	主任研究員	②		なし
192		関節リウマチにおける骨破壊のメカニズムに関してヒト末梢血単球を使用した研究	村田 浩一	京都大学大学院 医学研究科 リウマチ性疾患先進医療学講座	特定助教	②	②	白血球除去フィルター全血6個
193		(一社)神奈川県臨床検査技師会 精度改善事業	片川 一之	(一社)神奈川県臨床検査技師会	会長	①	①	赤血球2バッグ
194		免疫検査学実習 輸血関連検査実習	山口 聡	東洋公衆衛生学院 臨床検査技術学科	学科長	①	①	赤血球6バッグ、血漿1バッグ
195		学生に対する教育目的	政氏 伸夫	北海道大学大学院 保健科学研究院	准教授	①	①②	赤血球5バッグ、血漿965.0mL、セグメント全血120本、検査残余全血100.0mL
196		香川県輸血検査研究班輸血検査研修会/香川県輸血検査外部精度管理調査	荒井 健	香川県臨床検査技師会	会長	①	①	赤血球2バッグ、血漿2バッグ、血漿520.0mL
197		全衛連臨床検査精度管理調査	高木 康	公益社団法人 全国労働衛生団体連合会 臨床検査専門委員会	委員長	①	②	検査残余血清10000.0mL
198		臨床検査技師養成教育における輸血検査実習	小野川 傑	埼玉医科大学 保健医療学部 臨床検査学科	教授	①	①	赤血球8バッグ、血漿8バッグ
199		鳥取県臨床検査精度管理調査	湯田 範規	一般社団法人 鳥取県臨床検査技師会	会長	①	①	赤血球3バッグ、血漿1バッグ、血漿259.0mL
200		新規HTLV-1抗体検出試薬の開発	野田 健太	シスメックス株式会社 診断薬エンジニアリング本部 タンパク技術グループ	部長	①②	①	血漿11バッグ、血漿21996.0mL
201		血液型検査試薬の検討	藤田 崇	富士フイルム和光純薬株式会社 臨床検査薬学術研究本部 臨床検査薬研究所	課長	①	①②	赤血球24バッグ、検査残余全血2310本
202		血液センター供給血を用いた輸血移植学実習	山口 孝一	国際医療福祉大学	助教	①	①	赤血球3バッグ、血漿1バッグ
203		赤血球製剤及び血漿分画製剤における病原体不活化法の研究及びB型・C型肝炎ウイルスの培養系の確立	岡田 義昭	埼玉医科大学 医学部	准教授	①②	①	血漿450.0mL
204		輸血検査学実習	林 由里子	群馬パース大学 保健科学部 検査技術学科	講師	①	①	赤血球1バッグ、血漿240.0mL
205		東京都登録衛生検査所の精度管理事業	田中 朝志	東京医科大学 八王子医療センター	准教授	①	①	赤血球2バッグ、血漿2バッグ
206		癌の進展および治療抵抗性におけるヒト末梢血由来単核球の機能解析	下田 将之	東京慈恵会医科大学 病理学講座	教授	②		なし
207		輸血実技講習会	木村 泰治	一般社団法人 岡山県臨床検査技師会	会長	①		なし
208		ぶどう膜炎をはじめとする眼炎症疾患の眼炎症発作の病態を反映する生物指標の探索	園田 康平	九州大学大学院 医学研究科 眼科	教授	②		なし
209		携帯型近赤外分光装置の血液ファントム評価	渡辺 享志	浜松ホトニクス株式会社 GSCCビジネス・アクセラレータ 近赤外生体応用	部員	②	①	全血917.0mL
210		Medical gasによる血小板保存法の開発	矢倉 富子	東京医科大学 人体構造学分野	講師	①	①	血漿2バッグ
211		福井県臨床検査技師会輸血細胞治療部門 輸血検査実技講習会	海老田 ゆみえ	福井県臨床検査技師会 輸血細胞治療部門	臨床検査技師	①		なし
212		A型およびE型肝炎ウイルス特異的モノクローナル抗体の作製	寺原 和孝	国立感染症研究所 治療薬・ワクチン開発研究センター	主任研究官	②		なし
213		山形県臨床検査技師会 輸血細胞治療部門 実技研修会	加藤 美加	山形県臨床検査技師会	輸血細胞治療部門長	①	①	赤血球2バッグ、血漿2バッグ
214		山形県臨床検査技師会 輸血細胞治療部門 精度管理	加藤 美加	山形県臨床検査技師会	輸血細胞治療部門長	①	①	赤血球3バッグ、血漿2バッグ
215		HIV感染細胞のHIV潜伏感染と活性化の機序についての解析	前田 賢次	国立国際医療研究センター	室長	②	②	白血球除去フィルター全血9個
216		ヒト赤血球由来プロテアソームの構造研究	森本 幸生	京都大学 複合原子力科学研究所	教授	②	①	赤血球5バッグ



# 献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
217		有効なクリオプレシピートの院内調製と凍結乾燥化の基礎検討	藤田 浩	東京都立墨東病院 輸血科	部長	①	①	血漿21バッグ
218		災害臨床における医学薬学共同による無人航空機(UAV)の活用 ドローンによる血液製剤搬送	藤田 浩	東京都立墨東病院 輸血科	部長	①	①	赤血球3バッグ
219		献血血液を用いた動脈血栓症診断を可能にする血液検査法の研究	坂田 飛鳥	奈良県立医科大学 血栓止血医薬生物学	助教	②	/	なし
220		微小振動環境下における赤血球の流動特性に関する実験的研究	百武 徹	横浜国立大学	教授	②	②	検査残余全血43本
221		油症におけるダイオキシン類・PCBの人体暴露と評価手法に関する研究 ③血液中ダイオキシン類・PCB濃度測定精度管理	堀 就英	福岡県保健環境研究所	生活化学課長	②	①	全血726.0mL
222		体外循環における回路内血液凝固の専属的検出システム構築	坂元 英雄	公立小松大学	講師	②	①	全血15086.0mL
223		分子標的がん治療薬が引き起こす溶血性貧血の副作用の分子機構の解明およびリスク変動要因の探索	楠原 洋之	東京大学大学院 薬学系研究科	教授	②	/	なし
224		令和3年度(第34回)和歌山県臨床検査技師会 臨床検査精度管理調査	田中 規仁	一般社団法人 和歌山県臨床検査技師会	会長	①	①	赤血球4バッグ、血漿2バッグ、血漿235.0mL
225		血小板機能・寿命及び情報伝達経路における糖鎖、apoptosis関連タンパク、kinase、免疫受容体、接着分子の役割の解析	上妻 行則	学校法人 銀杏学園 熊本保健科学大学 医学検査学科	准教授	①②	/	なし
226		日臨技近畿支部における輸血講習会の開催	坊池 義浩	日本臨床衛生検査技師会 近畿支部	輸血細胞治療部門長	①	/	なし
227		SMBG用コントロール物質の製造	田中 善孝	日水製薬株式会社 研究部	部長	②	①	赤血球24バッグ
228		HBs抗原陽性若年献血者におけるHBワクチンエスケープ変異株の検討	四柳 宏	東京大学 医科学研究所 先端医療研究センター 感染症分野	教授	②	②	検査残余血清100本
229		希少糖をベースとした新規抗マラリア薬の開発	新井 明治	香川大学 医学部	准教授	②	①	赤血球 18 バッグ、血漿 9 バッグ、血漿 2066.0mL
230		輸血検査の精度の確保に関する研究	大友 直樹	東京医科歯科大学医学部附属病院 輸血・細胞治療センター	臨床検査技師長	①	/	なし
231		ECMO症例におけるMicrovesiclesの臓器障害に対する役割の検討	若林 健二	東京医科歯科大学 生体集中管理学分野	教授	②	①	全血1574.0mL
232		標準血清およびコントロール血清への使用	菅 亮彦	株式会社カイノス	研究所所長	②	①②	血漿50バッグ、検査残余血清7500.0mL
233		ヒト血液を用いたin vitro培養系のマラリア原虫のオルガネラの解析	彦坂 健児	千葉大学大学院 医学研究科 感染生体防御学	准教授	②	①	赤血球24バッグ、血漿6バッグ
234		公益社団法人 大阪府臨床検査技師会 ヘモグロビンA1c精度管理事業での使用	高田 厚照	公益社団法人 大阪府臨床検査技師会	会長	①	①	赤血球2バッグ、血漿475.0mL
235		長野県における輸血検査教育	小嶋 俊介	信州大学 医学部 附属病院 輸血部	主任臨床検査技師	①	/	なし
236		中毒疹における原因疾患の早期鑑別診断法の開発	中川 幸延	大阪大学 医学系研究科 皮膚科	助教	②	/	なし
237		献血血液等 検査残余血液(全血): EDTA採血を用いた品質確認試験(検査)	黒澤 竜雄	富士フイルム 和光純薬株式会社 三重工場	品質管理部長	②	②	検査残余全血540本
238		輸血・移植検査学実習	内堀 恵美	京都橘大学健康科学部臨床検査学科	専任講師	①	①	赤血球4バッグ、血漿886.0mL
239		自己免疫介在性脳炎・脳症に関する前駆期研究 201802	高橋 幸利	国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター	院長	②	②	検査残余血清1本
240		成分献血ドナーを対象としたiPS細胞由来の巨核球細胞ストック及び血小板産生に関する研究	江藤 浩之	京都大学iPS細胞研究所	教授	①	①	血漿 28 バッグ、血漿 7501.0mL、血小板 690.0mL
241		先進医療機器のための抗血栓材料の開発	田中 賢	九州大学先導物質化学研究所	教授	②	①	全血1988.0mL
242		新規凍結乾燥技術を用いたヒト濃縮多血小板血漿のマウス子宮・卵巣投与による子宮内膜再生・及び卵巣機能に及ぼす影響とその作用機序の解明	木村 正	大阪大学大学院医学研究科産科学婦人科学講座	教授	②	①	全血1632.0mL
243		日本臨床検査技師会中四国支部輸血研修会	錦織 昌明	島根県臨床検査技師会	会長	①	①	なし

# 献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
244		ナショナルバイオリソースプロジェクトにおけるマラリア原虫株の培養と維持管理	金子 修	長崎大学熱帯医学研究所 生物資源室	室長/教授	②	①	赤血球1バッグ
245		急性期心原性脳塞栓症患者に対する自己骨髄単核球投与治療法の確立と細胞分離機器の開発	久保 寛嗣	日本光電工業(株) 荻野記念研究所 CR開発部	課長	②	/	なし
246		新しいヒト免疫不全ウイルス制御法の開発研究	布矢 純一	獨協医科大学 微生物学講座	講師	②	②	白血球除去フィルター全血5個
247		悪性腫瘍に対する養子免疫T細胞療法の開発研究	布矢 純一	獨協医科大学 微生物学講座	講師	②	②	白血球除去フィルター全血5個
248		ヒト免疫記憶細胞の製造方法の開発	徳元 康人	埼玉医科大学	講師	②	/	なし
249		抗マラリア活性化化合物の探索と創薬研究	和田 章	国立研究開発法人理化学研究所 生命機能科学研究センター	専任研究員	②	①	赤血球21バッグ、血漿1バッグ
250		マイクロ流路デバイス用の前処理チップの開発	須釜 裕司	日東紡績株式会社メディカル研究開発センター	センター長	②	①	全血953.0mL
251		体外診断用医薬品の開発研究	小熊 良裕	旭化成ファーマ株式会社 診断薬製品部	主幹研究員	①②	/	なし
252		血液分析装置用試薬開発における性能評価及び検体間事例の抽出	伊藤 禎司	日本光電工業株式会社 技術開発本部IVD技術開発部	第三技術部 部長	②	/	なし
253		臨床検査技師実習技能研修(輸血)	前島 基志	国立病院機構関東甲信越グループ	臨床検査専門職	①	/	なし
254		血小板機能低下に対し新鮮凍結血漿や血小板製剤投与がトロンボエラストメリー(ROTEM)上の血餅硬度や血餅安定化に及ぼす影響	小森 万希子	東京女子医科大学足立医療センター麻酔科	部長	①	①	血漿46バッグ、血漿403.0mL
255		日本臨床衛生検査技師会中部圏支部輸血実技研修会	浅野 敦	岐阜県臨床検査技師会	会長	①	/	なし
256		臨床検査技師養成大学における臨床免疫学(輸血療法検査)教育・手技の修得	清水 慶久	北陸大学	教授(臨床免疫学担当)	①	②	検査残余全血40本
257		コントロール血液・血清による日常検査の精度管理	西谷 陽子	熊本大学大学院生命科学研究部法医学講座	教授	②	/	なし
258		令和3年度和歌山県臨床検査技師会輸血研究班勉強会(実技)	田中 規仁	一般社団法人 和歌山県臨床検査技師会	会長	①	/	なし
259	○	人工心肺使用心臓管外科手術における血小板機能維持を重視した新たな希釈式自己血輸血法の検討	川本 修司	京都大学大学院医学研究科 侵襲反応制御医学講座 麻酔科学分野	医師 助教	②	/	なし
260	○	制御性T細胞分化増殖・促進とコロナウイルス感染症重症化予防のための薬の開発	藤井 健志	同志社女子大学 薬学部 薬理学	教授	②	/	なし
261	○	ヒト赤血球およびヒト抹消細胞を用いたマラリア原虫生成物による免疫応答機構の解析	ジェヴァイア チョバン	東京大学医科学研究所 感染免疫部門 マラリア免疫学分野	教授	②	①	赤血球17バッグ
262	○	高知県臨床検査精度管理調査の血液試料(保健事業目的のため)	市川 厚	一般社団法人 高知県臨床検査技師会	臨床検査技師	②	①	全血236.0mL、赤血球1バッグ、血漿1バッグ
263	○	学内検査実習(免疫検査学実習Ⅱ)	天川 雅夫	岐阜医療科学大学	准教授	①	①	赤血球13バッグ、血漿2バッグ、血漿2153.0mL
264	○	自己血輸血ドレーピングの対策に向けた基礎研究	竹越 一博	筑波大学 医学医療系	教授	②	/	なし
265	○	CD34陽性細胞を用いた肺炎症に関わる免疫担当細胞の分化・機能の解析	若原 恵子	名古屋大学医学部附属病院 呼吸器内科	講師	②	①	全血628.0mL
266	○	長崎県臨床検査技師会 輸血検査研究班活動	松永 光博	長崎県臨床検査技師会 輸血検査研究班	班長	①	①	赤血球3バッグ、血漿1バッグ、血漿229.0mL
267	○	熊本県内における臨床検査精度向上のための精度管理および輸血検査技術講習会の実技指導	田中 信次	熊本県臨床検査技師会	熊本県臨床検査技師会 会長	①	①	赤血球4バッグ、血漿437.0mL
268	○	24G静脈留置針を用いた赤血球液の急速輸血が血清カリウム値上昇に与える影響	川井 和美	県立広島病院 麻酔科	医師	①	①	赤血球24バッグ
269	○	熱帯熱マラリア原虫薬剤耐性機構の研究	新澤 直明	東京医科歯科大学	助教	②	①	赤血球44バッグ、血漿44バッグ
270	○	日本赤十字社より譲渡を受けた献血血液を用いた熱帯熱マラリア原虫培養系を利用した、マラリアワクチン、薬剤、診断法の評価系の開発	狩野 繁之	国立研究開発法人 国立国際医療センター 研究所	熱帯医学・マラリア研究部長	②	①	赤血球19バッグ、血漿19バッグ

# 献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
271	○	輸血前検査の精度管理(東京都病院経営本部 東京都立病院輸血分野検討会 統一精度管理 (凝集サーベイ))	市川 智士	東京都監査医務院	科長	①	①	赤血球3バッグ
272	○	令和3年度秋田県臨床検査技師会精度管理調査	佐々木 俊一	秋田県臨床検査技師会	輸血検査部門長	①	①	赤血球2バッグ、血漿1バッグ、血漿299.0mL
273	○	令和3年度日本臨床検査技師会北日本支部輸血 検査部門実技研修会	佐々木 俊一	秋田県臨床検査技師会	輸血検査部門長	①	/	なし
274	○	アレルギー病態の分子機構解明	上野 英樹	京都大学大学院 医学研究 科 免疫細胞生物学	教授	②	②	白血球除去フィルター全血22個
275	○	感染症検出試薬(6項目)の陰性分布および非特 異反応発生頻度の検討、並びに、軽減法の開発	野田 健太	シスメックス株式会社 診断 薬エンジニアリング本部 タン パク技術グループ	部長	①②	②	検査残余血清3400本
276	○	HIV抗原/抗体検査試薬の改良	野田 健太	シスメックス株式会社診断薬 エンジニアリング本部タンパク 技術グループ	部長	①②	②	検査残余血清100本
277	○	ヒトサイトメガロウイルス(CMV)抗体検出試薬の開 発	野田 健太	シスメックス株式会社診断薬 エンジニアリング本部タンパク 技術グループ	部長	①②	②	検査残余血清500本
278	○	ヒトパルボウイルスB19抗原検出試薬の開発	野田 健太	シスメックス株式会社診断薬 エンジニアリング本部タンパク 技術グループ	部長	①②	②	検査残余血清100本
279	○	臨地実習、免疫検査学実習、日常コントロール	藤原 孝記	帝京大学医学部附属病院 輸血部	技師長	①	①	血漿10バッグ
280	○	群馬県臨床検査精度管理調査	竹内 哲也	一般社団法人 群馬県臨床 検査技師会	精度保証部精度管理 委員会委員長	①	①	赤血球5バッグ、血漿2バッグ、血漿259.0mL
281	○	2年次 免疫学実習	下村 弘治	西武学園医学技術専門学校	臨床検査技師科 学 科長	①	①	赤血球8バッグ、血漿4バッグ
282	○	迅速HTLV検査法の開発およびHTLV検査の普及 に向けた取り組み	倉光 球	国立感染症研究所 血液・安 全性研究部	主任研究官	①②	②	検査残余血清1245.0mL
283	○	北海道医療大学 医療技術部「輸血・移植学実 習」(対象学生65名)	幸村 近	北海道医療大学 医療技術 部	学部長・教授	①	①②	赤血球6バッグ、血漿2バッグ、血漿 1210.0mL、セグメント全血300本、検査残余全 血32本
284	○	令和3年度 青森県臨床検査技師会 輸血・移植 検査部門 精度管理調査	小山内 崇将	青森県臨床検査技師会	学術班 輸血・移植 検査部門 部門長	①	①	赤血球2バッグ、血漿454.0mL
285	○	ヒト血液を用いたマラリア原虫の培養	徳舩 富由樹	長崎大学 熱帯医学研究所 細胞環境構築学分野	教授	②	①	血漿4バッグ、血漿4633.0mL
286	○	発熱性物質評価法の開発	工藤 由起子	国立医薬食品衛生研究所	衛生微生物部長	②	②	検査残余全血19本
287	○	iPS細胞由来のHLAクラスI欠失巨核球細胞のス トックおよび血小板産生に関する研究	江藤 浩之	京都大学iPS細胞研究所	教授	①	①	血漿8バッグ、血漿488.0mL
288	○	炎症組織浸潤リンパ球の解析	吉富 啓之	京都大学大学院医学研究科	准教授	②	/	なし
289	○	九州地区卒後教育セミナー	佐藤 元恭	日本臨床衛生検査技師会	九州支部長	①	/	なし
290	○	ヒト血小板に対する長鎖ポリリン酸の作用機序の 解明	藤谷 幹浩	旭川医科大学 消化器先端 医学講座	特任教授	①	①	血小板1バッグ
291	○	血漿セレン含有タンパク質 セレノプロテインPIに よるインスリン抵抗性誘導メカニズムの解明	三田 雄一郎	同志社大学 生命医科学部 医生命システム学科	助教	②	①	血漿5599.0mL
292	○	広範囲の感染症治療に有効な抗菌ペプチドの開 発	三澤 隆史	国立医薬食品衛生研究所	室長	②	②	検査残余全血5本
293	○	新制御方法開発のためのT細胞および制御性T細 胞の詳細解析	James Badger Wing	大阪大学感染症総合教育研 究拠点	特任准教授	②	/	なし
294	○	血小板凝集活性に対するGal-9の作用とその分子 標的の同定	有川 智博	東北医科薬科大学 医学部 医学教育推進センター	准教授	②	/	なし
295	○	熱帯熱マラリア原虫の培養系を用いた抗マラリア 新規治療薬の探索	北 潔	長崎大学 熱帯医学・グロー バルヘルズ研究	教授	②	/	なし
296	○	ヒト自然抗体の自己、非自己抗原反応解析とヘル ペスウイルス検出技術の開発	安居 輝人	国立研究開発法人 医薬基 盤・健康・栄養研究所	プロジェクトリーダー	②	②	白血球除去フィルター全血10個
297	○	血清分離剤が薬物中濃度に与える影響	徳留 真優	昭和大学大学院 薬学研究 科 毒物学	大学院生	②	/	なし

# 献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
298	○	血液凝固・線溶検査用コントロール物質の製造	田中 善孝	日水製薬株式会社	研究部 部長	②	①	血漿60バッグ
299	○	赤血球系細胞における新規マーカー分子の同定	塚本 徹雄	新潟医療福祉大学	教授	②	①	全血3573.0mL
300	○	精度管理調査の改善と施設間差解消のための検体性状の改善についての検討	浦田 香代美	地域医療機能推進病院 臨床検査技師会	精度管理委員長	①	②	検査残余血清47000.0mL
301	○	ヒト樹状細胞前駆細胞の同定と新規培養法方の樹立	小内 伸幸	金沢医科大学 医学部 免疫学	教授	②	①	全血4973.0mL
302	○	血液中のリンパ球を用いた癌治療法の研究開発(腫瘍間質バリアを克服する温熱療法併用次世代キメラ抗原受容体(CAR) T細胞療法の開発)	小川 久貴	大阪国際がんセンター研究所 Nitto核酸創薬共同研究部	研究リーダー	①		なし
303	○	質量分析法による献血血液のメタボロミクスプロファイリング	北 芳博	東京大学大学院 医学系研究科	准教授	②	②	検査残余血漿20本、検査残余血清20本
304	○	献血血液検体を用いた新規免疫指標評価法の開発研究	大津 真	北里大学 医学部 輸血・細胞移植学	助教	②		なし
305	○	生化学用コントロール物質の製造	田中 善孝	日水製薬株式会社	研究部 部長	②		なし
306	○	輸血学実習授業のための譲渡血	高山 成伸	大東文化大学 スポーツ・健康科学部	教授	①	①	赤血球11バッグ、血漿6バッグ

※1 献血血液の使用目的	① 血液製剤の有効性・安全性及び献血の安全性の向上を目的とした使用
	② 国の公衆衛生の向上を目的とした使用
※2 献血血液の区分	① 血液製剤の規格等に適合しない血液(検査により不適合となった血液、販売されず有効期限切れの血液製剤)
	② 血液製剤の製造に伴って副次的に得られる献血血液又は中間生成物(検査用検体の残余血液、保管年限(11年)を超えた調査用の血液、血液製剤の製造過程で得られる廃棄画分)
	③ 血液製剤の規格等に適合する献血血液等であって血液製剤の安定供給に支障の生じない量のもの

# 献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

【日本赤十字社内への提供】

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
1		不規則抗体陽性パネルの作製	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	①	血漿127バッグ
2		PK7300用コントロールの作製	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血1107本
3		不規則抗体同定用パネル血球の作製	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	①②	赤血球14バッグ、検査残余全血66本
4		血液型関連パネル血球の作製	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球33バッグ
5		研修生等の実技研修	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血8本
6		赤血球型に関する遺伝子多型の解析(血液事業研究)	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血296本
7		同定不能検体を対象とした血液型遺伝子検査法の構築	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血3本
8		血液型検査用抗血清のスクリーニング、抗血清の確保	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	①	血漿17バッグ
9		単球貪食試験用パネル	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血245本
10		モノクローナル抗体作製	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	②	白血球除去フィルター2個
11		職員の教育訓練のため	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血101本
12		血小板貪食試験	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血100本
13		HLA・HNA・HPA抗体検出法の開発等に係るパネルとして	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血1000本
14		白血球型・血小板型ワークショップ	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血200本
15		HNAまたはHPA抗体検査用抗血清の確保	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	①	血漿20バッグ
16		新生児血小板減少症におけるICFA法によるHPA抗体検査の導入	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血10000本
17		職員への教育訓練用模擬バッグとして	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球9バッグ、血漿25バッグ、血小板1バッグ
18		次期自動血球計数装置評価機器XN-2000のPLT clumps発生状況確認として	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	②	血小板数測定用検体479本
19		「血小板数測定等における測定装置の評価試験の実施方法について」にかかる使用	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	①	全血1バッグ、赤血球4バッグ、血小板2バッグ
20		梅毒の検討	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	①②	血漿29バッグ、検査残余血清28本
21		HTLV-1抗体陽性検体の提供について(依頼)1	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	②	血算用検体9本、検査残余血清19本
22		HTLV-1抗体陽性検体の提供について(依頼)2	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	①	血漿2バッグ
23		NAT試薬の変更に伴うNAT陽性血液の確保について	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	①②	血漿70バッグ、検査残余血漿51本
24		NAT陽性(MPX陽性かつ同定検査陰性)血液の確保依頼について	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	①	血漿15バッグ
25		HEV NAT検査システムの評価および感染実態調査の試料(一部はパネル)として	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	①②	血漿153バッグ、検査残余血清1628本
26		パルボB19抗原検査システムの評価および陽性検体の解析(一部はパネル)として	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	①②	血漿147バッグ、検査残余血漿297本
27		二次製造用	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球5バッグ、血漿5バッグ

# 献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
28		赤血球製剤の品質に関する内部検討	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球94バッグ
29		照射赤血球液-LR「日赤」の保存中の溶血発生状況に係る試験	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球147バッグ
30		赤血球製剤の品質に関する内部検討	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球94バッグ
31		血小板品質評価に関する内部検討	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	①②	血小板9バッグ、血小板数測定用検体235本、血漿1バッグ
32		2021年度血液事業研究課題製剤-150の試料として使用するため	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	①②	血小板91バッグ、血漿7バッグ、白血球除去フィルター322個、トリマ成分採血装置キット(チャンバー)内残余血3個
33		2021年度血液事業研究課題製剤-169の試料として使用するため	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	①②	全血3バッグ、血小板5バッグ、血小板数測定用検体106本
34		2021年度血液事業研究課題製剤-167の試料として使用するため	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球9バッグ
35		血漿品質評価に関する内部検討	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	①	血漿2バッグ
36		赤血球品質評価に関する内部検討	紀野 修一	北海道ブロック血液センター	所長	①	①②	全血1バッグ、赤血球18バッグ、白血球除去フィルター17個
37		出荷前製品登録作業における最大処理本数規定	柴崎 至	東北ブロック血液センター	所長	①	①	血漿14バッグ
38		出荷前製品登録作業における最大処理本数規定	柴崎 至	東北ブロック血液センター	所長	①	①	血漿2バッグ
39		「中央-2113 クリオプレシピテート製剤の製造プロセスの構築に関する検討」の試料として	柴崎 至	東北ブロック血液センター	所長	①	①	血漿25バッグ
40		依頼検査用検体	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血5203本
41		血液型・垂型・抗体同定等の確認用	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血211本
42		検査用コントロールの作製	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①	血漿14バッグ
43		自動検査機器の精度管理用(原料血用・抗原陰性血用)	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球90バッグ
44		不規則抗体同定用パネル血球原料等	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球142バッグ
45		まれ血・垂型・抗体同定(確認・検討用)	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①	全血1バッグ、赤血球71バッグ、血漿67バッグ、血小板1バッグ
46		モノクローナル抗体試薬の製造	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血941本
47		血液型検査用試薬の製造原料として富士フィルム和光純薬(株)に提供	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①②	赤血球104バッグ、検査残余全血2205本
48		血液型検査用試薬検討	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①②	血漿4バッグ、検査残余全血167本
49		血安第41号(令和3年7月30日付)によるスクリーニングNAT陽性(HBV同定)血液の確保と送付について	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①	血漿2バッグ
50		血研第146号(令和3年7月29日付)によるNAT陽性(MPX陽性かつ同定陰性)血液の確保依頼について	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①	血漿83バッグ
51		血研第185号(令和2年11月17日付)「NAT試薬の変更に伴うNAT陽性血液の確保について」による	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①②	血漿342バッグ、検査残余血漿383本
52		血研第86号(令和3年4月28日付)「HTLV-1陽性検体の提供について(依頼2)」による	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①	血漿7バッグ
53		血液事業研究「(赤-143)献血者における抗A・抗B抗体価 低下の調査」	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	②	その他(血液型用検体血漿を分離し、型ごとにプールのもの)6
54		フローサイトメーター(Navios)の精度管理	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血6本

# 献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
55		PK7300用試薬の製造	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血1952本
56		精査用コントロール及びパネル作製	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球1バッグ
57		原料血液検査・その他一次検査用・二次検査用・精査用コントロール及びパネル	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血5931本
58		用手法用血球試薬の製造	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球176バッグ
59		「NAT陽性(MPX陽性かつ同定検査陰性)血液の確保依頼について」に対する対応	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①	血漿34バッグ
60		HTLV-1陽性血液の提供について(依頼)2	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①	血漿20バッグ
61		ACP215バリデーション	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球5バッグ、血小板4バッグ
62		WRC-LR製造教育訓練	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球6バッグ
63		FRC-LR製造教育訓練	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球2バッグ
64		分離作業に係る教育訓練	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球5バッグ
65		FTRCの製造に係る教育訓練	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球6バッグ
66		BET-LR製造教育訓練	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球10バッグ、血漿10バッグ
67		ABO精査 不規則性抗体精査 Rh精査	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①	全血1バッグ、赤血球31バッグ、血漿36バッグ
68		NAT試薬の変更に伴うNAT陽性血液の確保	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①	血漿85バッグ
69		NAT陽性(MPX陽性かつ同定検査陰性)血液の確保	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①	血漿57バッグ
70		スクリーニングNAT陽性(HBV同定)血液の確保	室井 一男	関東甲信越ブロック血液センター	所長	①	①	血漿1バッグ
71		赤血球前駆細胞株を用いた不規則抗体検査用血球試薬の開発に関する研究	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①	赤血球9バッグ
72		PCR検査用自動測定装置(コバス5800)の運転時バリデーションに使用する	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	②	検査残余血漿30本
73		全自動細菌培養検査装置 BacT/ALERT 3Dと VIRTUOの比較	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①	血小板27バッグ
74		マラリア検査のコントロールに使用する	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①②	全血2バッグ、赤血球3バッグ、検査残余血漿40本
75		細菌スクリーニング関連:質量分析細菌同定装置の検討	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①	血小板5バッグ
76		白血球中に貪食された細菌DNA検出の検討	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①	全血8バッグ
77		令和3年4月8日付血製第24号に基づく譲渡血対応 28J0064:国立感染症研究所 水上 拓郎先生	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①	全血3バッグ、血漿5バッグ
78		令和3年4月8日付血製第24号に基づく譲渡血対応 29J0011:国立感染症研究所 浜口 功先生	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①	血漿5バッグ
79		令和3年度事業研究:細菌汚染が疑われた、または確定した血液製剤および汚染原因菌株の精査(中央-1824)	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①	赤血球8バッグ
80		令和4年度事業研究:赤血球製剤における好冷細菌の増殖リスク調査および検出法の検討(中央-2207)予備検討	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①	赤血球7バッグ
81		血小板製剤の不活化技術に関する研究	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①②	赤血球10バッグ、血小板45バッグ、血小板数測定用検体38本

# 献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
82		血液型遺伝子の多型解析と検査法の確立	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	②	検査残余全血455本
83		血小板製剤に関する予備検討に使用するため	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①	血漿8バッグ、血小板85バッグ
84		赤血球製剤に関わる一変承認申請試験	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①	赤血球5バッグ、血漿5バッグ
85		製剤開発に係る検討のため(血研第55号)	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	②	血小板数測定用検体71本
86		赤血球製剤の期限延長に係る試験にて使用	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①	赤血球193バッグ
87		洗浄血小板の検討のため	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①	血漿11バッグ
88		大量出血症例における冷蔵血小板の有効性をex vivoで探索するための前向き観察研究	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①	赤血球11バッグ、血小板19バッグ
89		濃縮血漿に係る試験へ使用する	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①	血漿20バッグ、血小板2バッグ
90		濃縮血漿のフリーズドライ化に係る試験へ使用する	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①	血小板3バッグ
91		アロ抗体による血小板貪食試験のため	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	②	血小板数測定用検体159本
92		非溶血性副作用調査及び新規検査方法開発に関連した白血球抗体の検出に使用する	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	②	検査残余全血1410本
93		有効期間を延長した血小板製剤から調製する洗浄血小板の製造販売承認用データの取得に向けた予備試験	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①	血小板18バッグ
94		血液事業本部中央血液研究所での解析	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①②	血漿169バッグ、検査残余全血119本
95		NAT試薬の変更に伴うNAT陽性血液の解析(中央血液研究所)	佐竹 正博	中央血液研究所	所長	①	①②	全血6バッグ、血漿193バッグ、血小板13バッグ、検査残余血清56本
96		凝集目合わせの教育訓練	竹尾 高明	東海北陸ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血50本
97		検査機器のバリデーション	竹尾 高明	東海北陸ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血800本
98		PK血球試薬の本社依頼品質試験用	竹尾 高明	東海北陸ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血30000本
99		富士フィルム和光純薬への譲渡用	竹尾 高明	東海北陸ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血1800本
100		血液型検査に使用する精度管理血球試薬調製用	竹尾 高明	東海北陸ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血2200本
101		血液型検査に使用するパネル血球試薬調製用	竹尾 高明	東海北陸ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血250本
102		血液型検査三次検査に使用	竹尾 高明	東海北陸ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血2500本
103		苦情調査(クロスマッチ)に使用	竹尾 高明	東海北陸ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血50本
104		血液型検査に使用する解離液、レクチン等の調製用	竹尾 高明	東海北陸ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血200本
105		血液型検査に使用する生理食塩水の受入試験用	竹尾 高明	東海北陸ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血200本
106		血液型検査に使用する抗体試薬調製用	竹尾 高明	東海北陸ブロック血液センター	所長	①	①	血漿45バッグ
107		梅毒追加検査(RPR法)の陰性コントロール作製のため	竹尾 高明	東海北陸ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余血漿30本
108		製品品質バリデーション	竹尾 高明	東海北陸ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球20バッグ、血漿20バッグ



# 献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
109		外観試験に係る教育訓練のため	竹尾 高明	東海北陸ブロック血液センター	所長	①	①	血小板5バッグ
110		包装袋による製品品質への影響調査のため	竹尾 高明	東海北陸ブロック血液センター	所長	①	①	血小板12バッグ
111		血液型検査用試薬の製造原料として富士フィルム和光純薬(株)に提供	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球64バッグ
112		血液型検査用試薬(自家調製)の製造原料のため	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球42バッグ
113		PK7300用コントロールの作製	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球60バッグ
114		血液型関連検査用コントロール及びパネルの作製	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血717本、検査残余血漿4本
115		モノクローナル抗体製造用パネル血球の作製	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	/	なし
116		モノクローナル抗体力価試験用	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血108本
117		精査目的	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球3バッグ、血漿23バッグ
118		研修医、研修生の実習用	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	/	なし
119		コントロールサーベイの試料	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	/	なし
120		試薬の品質試験	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余血清1600本
121		副作用検査などの試料として	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血401本
122		PC-HLA関連検査に使用する試料として	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血10本
123		副作用関連検査の開発・検討などの試料として	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血63本
124		令和3年度TRALIにおける白血球抗体関連検査コントロールサーベイ(顆粒球抗体検査)の試料として	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血6本
125		「分子標的がん治療薬が引き起こす溶血性貧血の副作用の分子機構の解明およびリスク変動要因の探索」の試料として	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血31本
126		血液事業研究課題:白-93「血小板型発現細胞に関する試料」として	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余血清30本
127		血液事業研究課題:細菌24「血液製剤の新規不活化法」の試料として	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	①	血漿28バッグ、血小板78バッグ
128		「2次元色彩計を用いた血液製剤の外観試験の検討」の試料として	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	①	血漿1バッグ、血小板23バッグ
129		成人の末梢血造血幹細胞の性状分析	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	②	白血球除去フィルター3個
130		血液事業研究課題:製剤-161「生体内を模倣した血小板機能評価方法の開発」の試料として	瀧原 義宏	近畿ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球114バッグ、血小板54バッグ
131		PK7300コントロール	小林 正夫	中四国ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血3085本
132		IH血球試薬	小林 正夫	中四国ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球39本
133		血球試薬	小林 正夫	中四国ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血208本
134		二次検査コントロール	小林 正夫	中四国ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血55本
135		三次検査	小林 正夫	中四国ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血408本

# 献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
136		まれ血検査	小林 正夫	中四国ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血4本
137		HLA検査コントロール	小林 正夫	中四国ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血94本
138		依頼検査	小林 正夫	中四国ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余全血312本
139		実技研修会	小林 正夫	中四国ブロック血液センター	所長	①	①②	血漿1バッグ、検査残余全血10本
140		HIV陽性のため	小林 正夫	中四国ブロック血液センター	所長	①	①	血漿3バッグ
141		採血部門に係る教育訓練のため	小林 正夫	中四国ブロック血液センター	所長	①	②	血算用検体185本
142		HTLV-199.9以上のため	小林 正夫	中四国ブロック血液センター	所長	①	①	赤血球1バッグ、血漿13バッグ
143		HTLV-I検査試薬の開発にかかる検討	入田 和男	九州ブロック血液センター	所長	①	①②	全血4バッグ、血漿2325バッグ、血小板11バッグ、検査残余血清3085本
144		HTLV-I陽転化パネルの作製(感染-116)	入田 和男	九州ブロック血液センター	所長	①	①②	血1344バッグ漿、血小板11バッグ、検査残余血清2453本、セグメント1本
145		九州地区におけるダニ媒介感染症の疫学調査(感染-117)	入田 和男	九州ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余血清5197本
146		廃棄製剤に含まれる白血球成分の有効活用の検討(製剤-162)	入田 和男	九州ブロック血液センター	所長	①	①②	全血27バッグ、白血球除去フィルター103個
147		血小板製剤中のエンドキシン検出法の検討	入田 和男	九州ブロック血液センター	所長	①	①	血漿9バッグ、血小板28バッグ
148		抗原陰性血スクリーニング用コントロールとして	入田 和男	九州ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余血漿520本
149		血液型一次検査(PK7300)用コントロールとして	入田 和男	九州ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余血漿58本
150		パネル血球作製用として	入田 和男	九州ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余血漿6本
151		Rh二次検査用(Rh陰性)コントロールとして	入田 和男	九州ブロック血液センター	所長	①	②	検査残余血漿27本
152		Quickgeno DNA blood kit S 受入試験	入田 和男	九州ブロック血液センター	所長	①	②	HLA用検体3本
153		HLA-A.B.Cタイピング試薬 受入試験	入田 和男	九州ブロック血液センター	所長	①	②	HLA用検体6本
154		ICFA試薬品質試験	入田 和男	九州ブロック血液センター	所長	①	②	HLA用検体20本
155		ICFA試薬受入試験	入田 和男	九州ブロック血液センター	所長	①	②	HLA用検体2本

※1 献血血液の使用目的	① 血液製剤の有効性・安全性及び献血の安全性の向上を目的とした使用
	② 国の公衆衛生の向上を目的とした使用
※2 献血血液の区分	① 血液製剤の規格等に適合しない血液(検査により不適合となった血液、販売されず有効期限切れの血液製剤)
	② 血液製剤の製造に伴って副次的に得られる献血血液又は中間生成物(検査用検体の残余血液、保管年限(11年)を超えた調査用の血液、血液製剤の製造過程で得られる廃棄画分)
	③ 血液製剤の規格等に適合する献血血液等であって血液製剤の安定供給に支障の生じない量のもの

# 献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

## 【日本血液製剤機構への申請】

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
1	○	敗血症時における好中球機能の検討		兵庫医科大学救急災害医学講座	講師	①	①	ノイアート静注用500単位 2本
2		ウイルス除去フィルターの除去機構解明		旭化成メディカル株式会社バイオプロセス事業部	課長	①	①	グロブリン筋注 450mg/3mL「JB」 1本 グロブリン筋注 1500mg/10mL「JB」 7本 フィブリノゲンHT静注用 1g「JB」 8本 献血ヴェノグロブリンIH 10%静注10g/100mL 66本 献血ヴェノグロブリンIH 10%静注20g/200mL 8本 献血ヴェノグロブリンIH 5%静注2.5g/50mL 360本 献血ヴェノグロブリンIH 10%静注5g/50mL 380本

※1 献血血液の使用目的	① 血液製剤の有効性・安全性及び献血の安全性の向上を目的とした使用
	② 国の公衆衛生の向上を目的とした使用
※2 献血血液の区分	① 血液製剤の規格等に適合しない血液(検査により不適合となった血液、販売されず有効期限切れの血液製剤)
	② 血液製剤の製造に伴って副次的に得られる献血血液又は中間生成物(検査用検体の残余血液、保管年限(11年)を超えた調査用の血液、血液製剤の製造過程で得られる廃棄画分)
	③ 血液製剤の規格等に適合する献血血液等であって血液製剤の安定供給に支障の生じない量のもの

# 献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

## 【日本血液製剤機構内への提供】

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
1		JB 機構内研究 (新規薬効探索、作用機作解明、新製剤の開発・ 適応拡大、製法改良、試験製造などの研究開発)				①	①	クロスエイトMC 静注 1000単位 6本 ノイアート静注用 500単位 2本 ハプトグロビン静注 2000単位「JB」 2本 フィブリノゲンHT静注用 1g「JB」 57本 献血アルブミン 5%静注12.5g/250mL「JB」 2本 献血アルブミン 20%静注10g/50mL「JB」 2本 献血アルブミン 25%静注12.5g/50mL「ベネシス」 11本 献血ヴェノグロブリンIH 5%静注2.5g/50mL 1本 献血ヴェノグロブリンIH 5%静注0.5g/10mL 1本 献血ヴェノグロブリンIH 5%静注5g/100mL 1本 献血ヴェノグロブリンIH 10%静注0.5g/5mL 3本 献血ヴェノグロブリンIH 10%静注5g/50mL 12本
2		JB 機構内研究 (新規薬効探索、作用機作解明、新製剤の開発・ 適応拡大、製法改良、試験製造などの研究開発)				①	②	アボトランスフェリン(750mg) 1本 アンチトロンビンIII工程サンプル① 310mL アンチトロンビンIII工程サンプル② 1,000mL 分画II+III(上清) 1,040mL 分画V(上清) 25,000mL カラム吸着画分 5,000mL ハプト工程液② 1,000mL ハプトグロビンペースト 400g
3		JB 機構内研究 (新規薬効探索、作用機作解明、新製剤の開発・ 適応拡大、製法改良、試験製造などの研究開発)				①	③	プール血漿 1,210mL 血漿 17,270mL 分画II+III(沈殿) 221g 分画V(沈殿) 3,360g ハプト工程液① 500mL 分画I(上清) 3,000mL 脱クリオ血漿 1,000mL 献血アルブミン 25%静注12.5g/50mL「ベネシス」 2本

※1 献血血液の使用目的	① 血液製剤の有効性・安全性及び献血の安全性の向上を目的とした使用
	② 国の公衆衛生の向上を目的とした使用
※2 献血血液の区分	① 血液製剤の規格等に適合しない血液(検査により不適合となった血液、販売されず有効期限切れの血液製剤)
	② 血液製剤の製造に伴って副次的に得られる献血血液又は中間生成物(検査用検体の残余血液、保管年限(11年)を超えた調査用の血液、血液製剤の製造過程で得られる廃棄画分)
	③ 血液製剤の規格等に適合する献血血液等であって血液製剤の安定供給に支障の生じない量のもの

# 献血血液等の研究開発等への使用に関する報告

## 【日本製薬株式会社内への提供】

受付番号	新規	研究開発等課題名	研究責任者氏名	所属機関名	職名	献血血液の使用目的 (※1)	献血血液の区分 (※2)	献血血液の種類、量など
1		日本製薬株式会社 自己使用 (試験製造)				①	③	上清IV-4 24,385kg
2		日本製薬株式会社 自己使用 (試験製造)				②	③	原料血漿 200L

※1 献血血液の使用目的	① 血液製剤の有効性・安全性及び献血の安全性の向上を目的とした使用
	② 国の公衆衛生の向上を目的とした使用
※2 献血血液の区分	① 血液製剤の規格等に適合しない血液(検査により不適合となった血液、販売されず有効期限切れの血液製剤)
	② 血液製剤の製造に伴って副次的に得られる献血血液又は中間生成物(検査用検体の残余血液、保管年限(11年)を超えた調査用の血液、血液製剤の製造過程で得られる廃棄画分)
	③ 血液製剤の規格等に適合する献血血液等であって血液製剤の安定供給に支障の生じない量のもの